

10.97.3 の新機能

Ver.10.97.3 の新機能と注意事項について以下にお知らせします。詳細については以下のリンクまたはインストールメディアに掲載している「What's New(英語版)」および、「Resolved Issues(英語版)」のドキュメントをご参照ください。

What's New: https://documentation.iconics.com/v10.97.3/Content/Release Notes/10.97.3_whats_new.htm

Release Notes: https://documentation.iconics.com/v10.97.3/Content/Release Notes/10.97.3_release_notes.htm

注意事項

以下の表は、ICONICS Suite を以前のバージョンから本バージョンにアップグレードする際に、ユーザのワークフローに影響を与える可能性がある変更内容、および変更に対する処置について記載しています。詳細については、「What's New(英語版)」および、「Resolved Issues(英語版)」のドキュメントで[Reference ID]を検索してください。

変更内容	必要な処置	Reference ID
IoTWorX エッジ/ゲートウェイデバイスには、Azure IoT Edge ランタイムバージョン 1.4 が必要になりました。	IoTWorX エッジデバイスに新しいバージョンをデプロイするには、Ver.10.97.3 Readme ファイルの手順に従ってください。	88006
マシン名または IP アドレスに基づいたリモートサーバを信頼することができなくなったため、 Platform Services Configuration ダイアログの Unrestricted Servers タブが削除されました。	Unrestricted Servers タブにマシン名または IP アドレスを追加して、リモートサーバを信頼するよう設定している場合は、以下のいずれかを実施する必要があります。 推奨手順: <ol style="list-style-type: none">Ver.10.97.2 Critical Fixes Rollup 1 以降がインストールされていることを確認してください。FrameWorX Server がドメインユーザとして起動していることを確認します。信頼できるサーバが、FrameWorX Server と同じ ID で動作していることを確認します。FrameWorX マシンの Platform Services Configuration > Access Restrictions タブを開き、Allow unrestricted access for server modules を選択します。 代替手順: <ol style="list-style-type: none">Ver.10.97.2 Critical Fixes Rollup 1 以降がインストールされていることを確認してください。Platform Services Configuration ダイアログを開き、Passwords タブを開く。信頼済みサーバに適切な認証情報を追加します。	87138

<p>ユーザが GenEvents を使用して、カスタムイベントを書き込むにはセキュリティ権限が必要になりました。</p>	<p>ユーザがカスタムイベントを投稿するためには、権限が必要になります。カスタムイベントは以下によって生成されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Log Event のグローバルコマンド • FwxClientWrapper の LogSimpleEvent や LogTrackingEvent といったスクリプト関数 <p>この権限を特定のユーザまたはグループに付与するには以下を実施する必要があります：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Workbench で Security を開き、Users または Groups を展開します。 2. 該当するユーザまたはグループをダブルクリックします。 3. 表示されたタブの Application Actions セクションで Common を展開して、Log GenEvent を選択します。 	<p>87153, 87783</p>
<p>GenEvent のソースフィールドとメッセージフィールドが変更されました。</p>	<p>GenEvents の表示画面またはロギングにおいてフィルタが適用されている場合、新しい情報と一致するようにフィルタを更新する必要があります。</p> <p>※ロギングデータの喪失を回避するため、フィルタは表示画面のみに適用することを推奨します。</p>	<p>87153, 87783</p>
<p>セキュリティ上の理由により、ICONICS OData Connector Point Manager (FwxODataService) サービスがデフォルトで無効になりました。</p>	<p>より安全な Web Platform Services (WebAPI) REST API をご使用ください。ICONICS OData Connector Point Manager (FwxODataService) サービスを使用したい場合は、サービスの一覧から有効にしてください。</p>	<p>89251</p>
<p>OPC Direct および OPC Over DCOM チャンネルは、マイクロソフト社が DCOM の堅牢化を実施したことにより "廃止" と表示されています。これらのチャンネルは、ワークベンチの Platform Services > FrameWorX > Server Settings > GenBroker64 Settings で設定されます。</p>	<p>リモート OPC Classic サーバには OPC Over TCP/IP チャンネルを使用することを推奨します。デフォルトでは OPC Over TCP/IP を使用する仕様となっているため、この設定は通常変更する必要がありません。この変更とマイクロソフトによる DCOM 堅牢化の詳細については、この記事を参照してください。</p>	<p>88836</p>
<p>OPC 設定ツールは削除されました。</p>	<p>認証局が署名した証明書を FrameWorX に追加したい場合、このヘルプトピックを参照してください。</p>	<p>90190</p>

BACnet with SC に関する推奨事項

- 履歴ログ： BACnet with SC から Hyper Historian Express へのマージが可能となりました。
- 証明書設定： Workbench の利便性向上は、将来のリリースで計画されています。それまでの間、証明書の生成と署名には以下で対応ください。
 - Open SSL を使用
 - スタンドアロンツールを使用
(Josef Tomecek にメールでツール利用をリクエストしてください。)

10.97.3 の新機能

- セキュリティと FDA
 - プロセスポイントやデータセットの書き込み、およびレシピ管理時のシングル認証またはダブル認証にサポート
 - パスワード管理とログインの強化
 - SAML 2.0 シングルログアウトのサポート
 - SAML 2.0 署名済みリクエストのサポート
- Alert Sierra モデムの統合
- ソフトウェアライセンス回復モード
- BACnet
 - 標準接続とセキュア接続をサポートする新しい BACnet スタック
 - Hyper Historian における BACnet トレンドのビルトインサポート
- Hyper Alarm Server
 - ビープ音のオフ状態をサポート
 - カスタムタイプ関数をサポート
 - マルチレベル・アクノレッジのサポート
 - 可変入力をサポート
- Hyper Alarm Logger
 - 新しいスタンドアロン・コレクター
- ReportWorX
 - 新しい承認ワークフロー
 - 統合された監査ログサポート
- AlertWorX
 - 電子メールと SMS のアラームフィルタリングのサポート
- 三菱電機 FA ツール
 - Safety CPU プロジェクトおよび GX Works3 プロジェクトのパスワード付きインポートのサポート